

## 博多の現在・過去・未来を回遊する

### 「博多夢ロマン街道」構想

#### はじめに

「現在」は「過去」の歴史の集積であり、「未来」の母胎である。過去の歴史を尊重し、古い良き伝統を継承しながら未来を構想することが大切である。日本は、明治近代以来どちらかと言えば、歴史や伝統を軽視し欧米化をすすめてきた。

「福岡部はミニ東京化し、博多部は空洞化」している現実を寂しく感じ、未来都市福岡市の豊かな未来は、輝かしい歴史のある「博多」と近現代の「福岡」とのバランスのとれた発展にあると確信する。以上のような問題意識から、新たな歴史観光・地域開発のコアコンピタンス（中核的財産）としての「博多」を明確化し、その象徴的原点である御供所周辺から櫛田神社通りを「新博多駅ビル」のオープンにあわせて「博多夢ロマン街道」（回遊性に富む遊歩道）として具現化することを提案したい。博多・福岡には恵まれたさまざまな歴史的観光地が散在しているが、目玉がないからである。

「博多夢ロマン街道」が博多・福岡観光の目玉、入り口となり、将来的には金印（志賀島）から大宰府、元寇防塁、福岡城につながる広域観光ネットワーク化の起爆剤として機能することを期待している。そして、アジアに情報発信するより魅力的な福岡市の再創造、実現に貢献できることを願っている。

#### 1. 博多・福岡の歴史

博多は古来から九州の内政とアジア交流・外交・貿易の中心拠点であった。弥生時代には奴国があり、飛鳥時代には遣唐使が那の津に泊まり、迎賓館として筑紫館（後の鴻臚館）が設置された。奈良時代には櫛田神社が創建され、「遠の朝廷」として「大宰府政庁」が設置され平安時代には空海が唐より帰朝し「東長寺」を開き、平清盛が宋貿易を盛んにするために「袖の湊」を築いた。平安末期には「博多どんたく」の起源でもある「博多松囃子」が始まり、鎌倉時代には榮西が日本最初の禅寺、「聖福寺」を開き、お茶やうどんを広め、宋からの帰化人「謝国明」が「承天寺」を建設し、聖一国師が開山した。その聖一国師が厄病払いのために甘露水をふりまいたのが「博多山笠」の始まりである。鎌倉末期には蒙古が来襲し「元寇防塁」が築かれた。室町、戦国時代にも朝鮮・中国との貿易拠点として栄え、安土桃山時代には豊臣秀吉が戦乱で焼失した博多を「太閤町割り」として再興させた。江戸時代になると黒田長政が備前岡山から福岡城にはいり、博多は堺とならぶ裕福な自治商業都市として順調に発展してきた。ここではこれ以上詳しく述べることはできないが、こうして概観してみると、御供所周辺が博多の歴史の原点であり、博多・福岡が日本の歴史のなかでいかに重要な役割をはたしてきたかがわかる。

「博多夢ロマン街道」構想はそれらの貴重な歴史遺産を蘇生させ、博多の現在・過去・未来

をトータルに捉え、学び、考え、楽しむことができる回遊性のある遊歩道として整備し、市民だけでなく全国、海外からの交流人口を増加させようというものである。

## 2. NPO主導による地域・観光開発・まちづくり

これまで都市開発や観光開発、地域開発はそれぞれの縦割り行政の主導で行われてきた。さらに大企業による膨大な投資を伴う「ハード」（施設）中心に実施されてきた。

私はこれからは都市開発・観光開発・地域開発は一体として総合的に考え、NPOや住民主導で「ソフト」（知恵・アイディア）中心に具体化していくべきであると考え。そしてそれは「コミュニティビジネス」という新しい発想・方法を駆使することでもある。

観光客誘引の要素は一般に5つあると言われている。それは①アイデンティティ&コンセプト②ヒストリー&トラディション③フィクション&ロマン④テイスト&ミュージック⑤サイトシーイングである。以上の視点と教訓を踏まえながら、コアコンピタンス（中核的財産）としての博多（御供所周辺）を都市・地域・観光開発の一体的視点から、NPO主導による住民参画的開発・まちづくりの方法で「博多夢ロマン街道」構想を平成23年の新博多駅オープンに向けて実現することを提言したい。

## 3. 「博多夢ロマン街道」構想

### ・基本コンセプト

「博多夢ロマン街道」の基本コンセプトは①時空を超えた博多の歴史の再現②体験型観光と体験学習の場③健康と環境、自然に配慮した回遊性のある遊歩道④アジア性の4つである。

このコンセプトに基づき新博多駅から御供所、櫛田神社、キャナルシティを結ぶトライアングルルートをカラー舗装化し、照明、ベンチ、解りやすい歴史解説掲示板等を統一デザイン化して整備する。通りは4つに分け、それぞれ「平安・鎌倉通り」「江戸通り」

「明治大正通り」「昭和平成通り」として整備する。（ルート図参照）

以下、具体的に述べたい。

### ① 新博多駅ビル（出発点）

新博多駅は平成18年1月に駅ビル本体工事に着手し平成23年春に開業予定である。同時に「九州新幹線」が全線開通する。地下3階、地上10階の複合商業施設（百貨店・専門店・エンターテイメント・サービス）となり、2階には周辺地区への回遊性向上のための歩行者用のベランダが設置される予定である。ここにまず博多・福岡の観光情報センター及び「博多ロマンチック街道」ガイドセンターを設置する。ガイドマップ・ビデオ・レンタル自転車・レンタル着物、ペロタクシー、スタンプラリー等の情報センターとする。さらに平成50年ごろの博多・福岡の未来都市構想をビジュアル化したものを展示する。

### ② 平安・鎌倉通り（御供所周辺）

駅ビルの2階の遊歩道から大博通り・出来町公園・御供所（聖福寺・承天寺・東長寺）までの通りを「平安・鎌倉通り」として整備する。出来町公園にシンボルタワーとして、遠くから見える高い火の見やぐら（鐘のなる時計付）を建設する。ここには、「博多夢ロマン街道」

の大きな看板と情報センター、NPO事務局・ボランティア観光ガイドセンター等を併設する。さらに「謝国明記念館」や「近代鉄道館」、日本発祥であるうどん屋、外郎、茶店、福岡市立養護学校博多高等学園の出店等を設置する。

この地区のお寺は可能な限り開放していただき、若干の入場料をとり内部まで観覧できるようにする。さらに座禅の講話と体験ができるようにする。私は高校から座禅をやっているが精神修養にとってもよく、気持ちがいいものである。案内、清掃は観光ボランティア、NPOが行う。通りについては地域住民の理解協力によりコンセプトにそった整備をお願いする。行政から若干の補助があれば効果的である。聖福寺前の道路は住民以外の車の通行を禁止する。現在、この地区は「都市景観形成地区」に指定され、福岡市都市整備局都市管理部都市景観室が地道な努力を継続している。

### ③江戸通り（櫛田神社周辺）

東長寺の前から櫛田神社の鳥居にかけて情緒のある横断遊歩道を建設する。ここから博多湾が少しでも見えれば最高である。中州のふれあい橋のイメージでつくればよいものになる。鳥居から櫛田神社までの通りを整備し、唐人街、コリア街、のぞきからくり館、屋台、博多にわか、大道芸が見られる賑わいのある通りにする。これで現在の「博多町家ふるさと館」がより生かされることになる。この通りは駐車場が多いので協力が得られれば整備は可能であると思う。

### ④明治大正通り（川端通り）

櫛田神社から川端通りは明治大正通りとして整備する。川上音二郎の記念館をどこかに設置し、オッペケペー節が鑑賞できるようにする。店の玄関あたりを若干造作することによって伝統的な川端通り商店街を活性化することになるだろう。

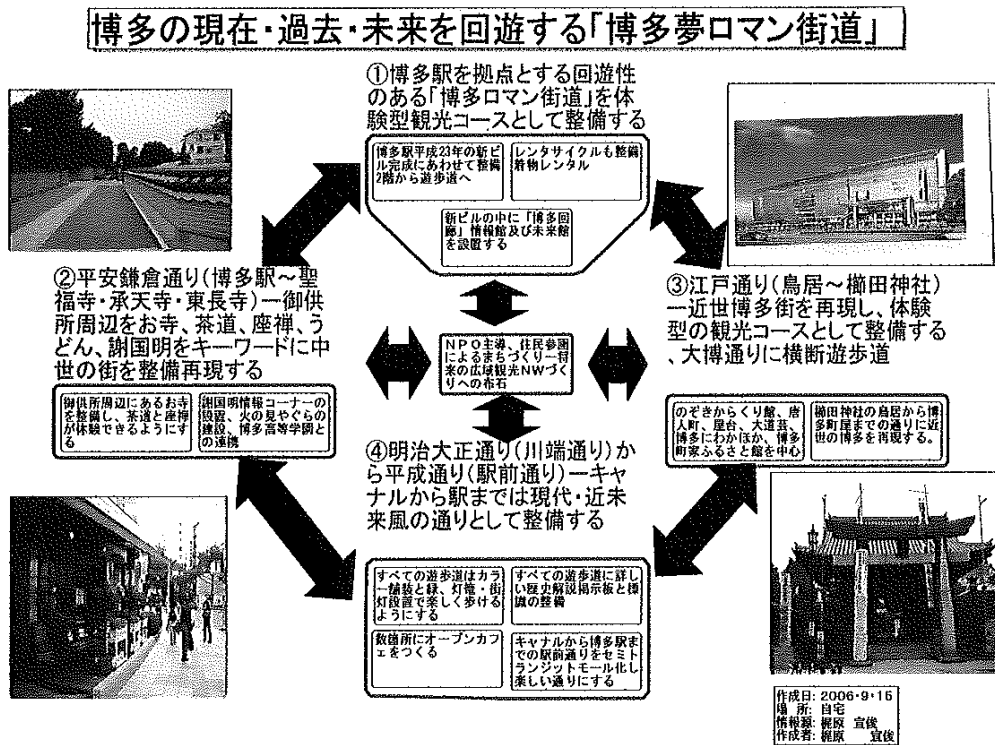
### ⑤昭和平成通り（駅前通り）

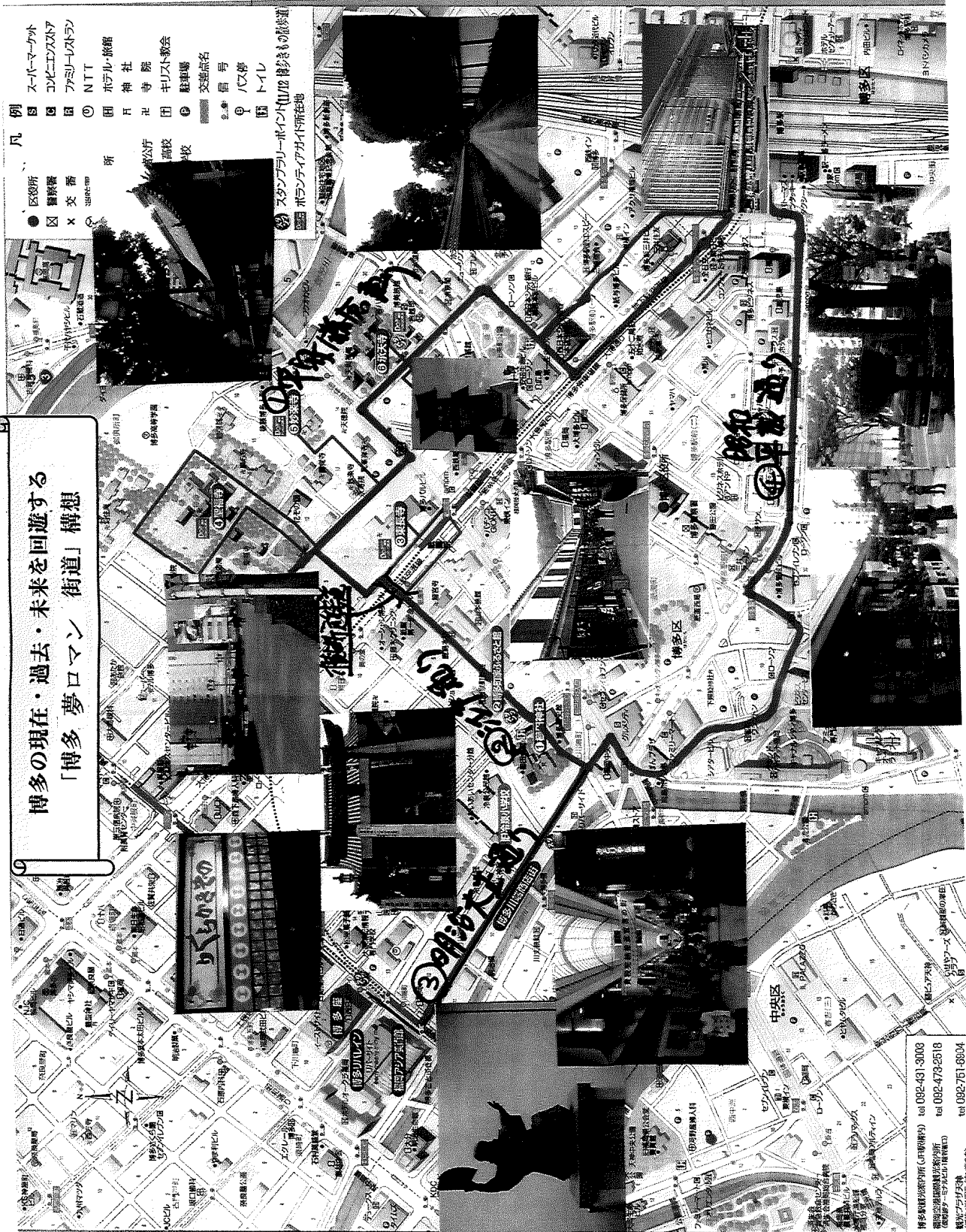
櫛田神社からキャナルシティを經由し駅前通りを現代通りとしてセミトランジットモール化する。おしゃれなオープンカフェやブティックを配置し、現代風にする。終点は博多駅である。以上のような「博多夢ロマン街道」を整備することにより「回遊性」のある、わくわくどきどきする、博多の現在・過去・未来を体験できる観光コースが出来上がる。2時間くらいで回遊できるから日帰りコースとしても有効である。もちろん時間のある方は櫛田神社から川端通り、福岡アジア美術館、博多リバレイン、博多座、天神まで足を伸ばすことができる。このような「博多夢ロマン街道」構想の実現と成功は「伝統ある博多の町づくり」や福岡県市の広域観光ネットワークづくりに拍車をかけ、起爆剤としての役割を果たすことができるだろう。将来的には志賀島（金印）・鴻ろ館・元寇防塁・大宰府を結ぶ広域歴史ネットワークが実現可能である。

最後に、この構想が実現できて成功すれば、全国各地域において、点として存在する歴史遺産を「夢ロマン街道」という名の遊歩道でつなぐという小さなビジネスモデルが評価され普及する可能性もある。この構想は観光開発のみにとどまらず、地域の子供たちが「総合的学習の時間」で郷土の生きた歴史を学ぶコースとしても有効であり、日本全体が過去の歴史を尊重した豊かな地域・国づくりへの動きをも加速することになるのではなかろうか。

参考文献

- ・ 「博多とおりゃんせプロジェクト」(2004. 3 NPO博多まちづくり)
- ・ 「福岡県の歴史」(1997・12 山川出版)
- ・ 「新・福岡都心構想」(2005・11 新・福岡都心構想策定委員会)
- ・ 「景観形成ガイドライン」(1999.3 福岡市都市整備局都市管理部都市景観室)
- ・ 「古地図の中の福岡・博多」(2005.12 宮崎克則編 海鳥社)
- ・ 「郷土の歴史・文化・観光百科 よかどこ博多読本(1988.1 和田勇雄 筑紫の歴史を学ぶ会)
- ・ 「博多」(2000.12 武野要子 岩波新書)





博多の現在・過去・未来を回遊する  
「博多夢ロマン街道」構想

- ねるきルート**  
歩みもの散歩コース
- 博多 座**  
博多生もの散歩コース  
10:00~14:30  
博多座前9-9-1マップを  
2枚添えます。
- 博多リハレ**  
通町アリア美術館  
博多川端商店街
- リハレ**  
リハレアートコース
- 額田神社**  
博多朝市(カウチンガ)の  
そば屋  
10:00~18:00  
昼間9-9-1マップを  
2枚添えます。
- 博多歴史ある社寺**  
期間中10周年  
記念展覧会開催  
※11/12(土)入場無料
- 東長寺**  
特別に大佛堂の  
拝観ができます。  
(11/12(土)限定)
- 聖福寺**  
【博多地域の歴史に  
お花見の地】  
おの祭典(お花見)  
の祭典(お花見)  
おの祭典(お花見)  
おの祭典(お花見)
- 妙楽寺**  
【博多地域の歴史に  
お花見の地】  
おの祭典(お花見)  
おの祭典(お花見)
- 承天寺**  
【博多地域の歴史に  
お花見の地】  
おの祭典(お花見)  
おの祭典(お花見)
- 博多歴史ある社寺**  
期間中10周年  
記念展覧会開催  
※11/12(土)入場無料
- 東長寺**  
特別に大佛堂の  
拝観ができます。  
(11/12(土)限定)
- 聖福寺**  
【博多地域の歴史に  
お花見の地】  
おの祭典(お花見)  
おの祭典(お花見)
- 妙楽寺**  
【博多地域の歴史に  
お花見の地】  
おの祭典(お花見)  
おの祭典(お花見)
- 承天寺**  
【博多地域の歴史に  
お花見の地】  
おの祭典(お花見)  
おの祭典(お花見)

タイトル:博多の現在・過去・未来を回遊する「博多夢ロマン街道」構想、対象地:福岡県、分類:歴史資源・伝統文化の活用